

令和3年度

枚方京田辺環境施設組合
決算審査意見書

枚方京田辺環境施設組合監査委員

目次

第 1.	審査の対象	2
第 2.	審査の期間	2
第 3.	審査の方法	2
第 4.	審査の結果	2
第 5.	決算の概要	3
1.	決算の状況	3
2.	歳入	4
3.	歳出	6
4.	財産の状況	8
第 6.	意見	9

(凡例)

- 文中及び各表中の金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入（歳入は切り捨て）して表示したため、総数と内訳等が一致しない場合がある。
- 文中及び各表中の比率は、小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで表示することを原則としている。
- 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「－」 …… 比較不能、不用のもの又は該当数値のないものを示す
「△」 …… 負数を示し、増減を示すときは減を示す

枚 京 監 第 1 5 号
令和4年（2022年）9月27日

枚方京田辺環境施設組合
管理者 上村 崇 様

枚方京田辺環境施設組合
監査委員 分林 義一
監査委員 鍛冶谷 知宏

令和3年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算書その他政令で定める書類を審査したので、その結果について、次のとおり意見を提出する。

第1. 審査の対象

令和3年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算
令和3年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
令和3年度枚方京田辺環境施設組合一般会計実質収支に関する調書
令和3年度枚方京田辺環境施設組合財産に関する調書

第2. 審査の期間

令和4年8月29日から令和4年9月27日まで

第3. 審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されているか、計数の正確性、事務処理の適否、予算執行状況等について検討するため、関係諸帳簿を照合し、また、関係職員から説明を受け審査を行った。

第4. 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿と符合して正確であると認められた。また予算執行及び事務処理についても、例月現金出納検査・定期監査を通じて検査・監査した結果、おおむね良好に処理されていた。

第5. 決算の概要

1. 決算の状況

令和3年度の決算額は、予算現額1億3,329万5千円に対して

歳入 1億2,549万7千円

歳出 1億2,544万7千円

となっており、前年度に比べ、歳入で2,339万円(16.1%)減少、歳出で2,327万4千円(15.6%)減少している。

歳入歳出差引き(形式収支)、実質収支ともに5万円の黒字となっており、前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支は11万6千円の赤字となっている。

歳入歳出決算状況は、次表のとおりである。

歳入歳出決算状況

(単位：千円、%)

区分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
予算現額	133,295	156,865	△23,570	△15.0
歳入決算額 (A)	125,497	148,887	△23,390	△15.7
歳出決算額 (B)	125,447	148,721	△23,274	△15.6
歳入歳出差引額(形式収支額) (A) - (B) (C)	50	166	△116	△69.9
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	0	0	0	0
実質収支額 (C) - (D) (E)	50	166	△116	△69.9
前年度実質収支額 (F)	166	174	△8	△4.6
単年度収支額 (E) - (F)	△116	△8	△108	△1,350.0

2. 歳入

(1) 歳入の概要

決算額は1億2,549万7千円で、予算現額1億3,329万5千円に対して779万8千円の減となり、執行率は94.1%である。また、調定額1億2,549万7千円に対する収入率は100.0%である。

決算額を前年度と比較すると2,339万円（15.7%）減少している。

決算額の内訳は、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

款	令和3年度				令和2年度		対前年度比較 (収入済額)	
	調定額	収入済額	収入率	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分担金 及び 負担金	121,538	121,538	100.0	96.9	134,225	90.2	△12,687	△9.5
国庫 支出金	3,793	3,793	100.0	3.0	14,488	9.7	△10,695	△73.8
諸収入	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰越金	166	166	100.0	0.1	174	0.1	△8	△4.6
合計	125,497	125,497	100.0	100.0	148,887	100.0	△23,390	△15.7

※収入率・・・収入済額/調定額（以下同じ）

※構成比・・・収入済額合計に占める比率

(2) 歳入の収入状況

歳入の状況を款別にみると、次のとおりである。

1 款 分担金及び負担金

(単位：千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
128,305	121,538	121,538	0	0	100.0

収入済額は1億2,153万8千円で、前年度に比べ1,268万7千円(△9.5%)減少している。内容としては、構成市からの負担金収入である。

2 款 国庫支出金

(単位：千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
4,821	3,793	3,793	0	0	100.0

収入済額は、379万3千円で、前年度に比べ1,069万5千円(△73.8%)減少している。内容としては、環境省からの交付金収入である。

3 款 諸収入

(単位：千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
2	0	0	0	0	0.0

4 款 繰越金

(単位：千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
167	166	166	0	0	100.0

収入済額は16万6千円で、前年度に比べ8千円(△4.6%)減少している。

3. 歳出

(1) 歳出の概要

決算額は1億2,544万7千円で、予算現額1億3,329万5千円に対して784万8千円の減となり、執行率は94.1%である。

決算額を前年度と比較すると2,327万4千円（15.6%）減少している。

決算額の内訳は、次表のとおりである。

（単位：千円、%）

款	令和3年度		令和2年度		対前年度比較 (支出済額)	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
議会費	225	0.2	203	0.1	22	10.8
総務費	97,912	78.0	98,432	66.2	△520	△0.5
衛生費	27,311	21.8	50,087	33.7	△22,776	△45.5
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	125,447	100.0	148,721	100.0	△23,274	△15.6

(2) 歳出の性質別経費の状況

性質別に経費を分類すると、次表のとおりである。

（単位：千円、%）

区分		令和3年度		令和2年度		対前年度比較 (支出済額)	
		支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
義務的 経費	人件費	373	0.3	333	0.2	40	12.0
その他 経費	物件費	23,776	19.0	50,406	33.9	△26,630	△52.8
	補助費等	92,883	74.0	97,981	65.9	△5,098	△5.2
投資的経費		8,415	6.7	—	—	8,415	—
合計		125,447	100.0	148,721	100.0	△23,274	△15.6

※性質別分類区分

人件費・・・（節）報酬、災害補償費

物件費・・・（節）旅費、交際費、需用費、

役務費（自動車損害保険料を除く。）

委託料、使用料及び賃借料、備品購入費

補助費等・・・(節) 報償費(報償金)、役務費(自動車損害保険料)
 負担金、補助及び交付金、償還金利子及び割引料
 投資的経費・・・(節) 工事請負費

(3) 歳出の執行状況

歳出の状況を款別にみると、次のとおりである。

1 款 議会費

(単位：千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
337	225	0	112	66.8

支出済額は22万5千円で、前年度に比べ2万2千円(10.8%)増加している。

不用額は11万2千円で、執行率は66.8%となっている。

2 款 総務費

(単位：千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
104,251	97,912	0	6,339	93.9

支出済額は9,791万2千円で、前年度に比べ52万円(△0.5%)減少している。この主な要因としては、派遣職員の給与費等負担金などが減少したことによるものである。

不用額は633万9千円で、執行率は93.9%となっている。

3 款 衛生費

(単位：千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
27,707	27,311	0	396	98.6

支出済額は2,731万1千円で、前年度に比べ2,277万6千円(△45.5%)減少している。この主な要因としては、環境影響評価業務に係る委託料などが減少したことによるものである。

不用額は39万6千円で、執行率は98.6%となっている。

4 款 予備費

(単位：千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
1,000	0	0	1,000	0

4. 財産の状況

(1) 公有財産（土地・建物）

該当なし

(2) 物品（取得価格又は評価額が 50 万円以上の備品）

区分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
財務会計システムハードウェア	1 式	—	1 式

(3) 債券

該当なし

(4) 基金

該当なし

第6. 意見

令和3年度の決算額は、歳入は1億2,549万7千円で、前年度に比べ2,339万円(△15.7%)減少し、歳出は1億2,544万7千円で、前年度に比べ2,327万4千円(△15.6%)減少している。

歳入歳出差引き(形式収支)、実質収支ともに5万円の黒字となっているものの、前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支は11万6千円の赤字で、前年度に引き続き赤字となっている。

赤字となった要因は、構成市の負担を軽減するため、きめ細やかで、的確な予算執行に取り組まれた結果である。

可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業においては、令和3年度に事業者選定手続きが完了し、現在、選定された事業者により、施設の設計業務が進められているところである。

今後は、施設の竣工・稼働に向けた本格的な施設整備が進められ、新たな局面を迎えることとなるが、これまで以上に効率的かつ適正に事務事業を進めていくため、次の点に留意して取り組まれるよう要望する。

- ① 事務事業の執行については、今後も国庫補助金等の確保を図るとともに、経費節減に取り組まれ、より一層効率的・効果的な財政運営に努めること。
- ② 現在設計業務が進められている可燃ごみ広域処理施設整備事業においては、目標年次での稼働に向け、事業者に対し遅滞のない進捗を求めるとともに、事業者の施工体制全体が、適法かつ適正な体制、手法により履行されているかについても、監理、監督に努めること。
- ③ 事務事業の実施にあたっては、その進捗に合わせ両市の市民等に対し、適切な情報提供に努めるとともに、施設整備を進める際には、環境影響評価書に示された環境保全措置を確実に実施すること。
- ④ 予算編成にあたっては、事業の精査を十分行い、適切な予算措置に努めること。